

給与は 長期に低落

運営費交付金カットと連動せず

三重大学の財務状況を分析します

毎年のように引き下げられる賃金。人文学部支部は、来たるべき大学当局との団体交渉の資料を作成することの一環として、三重大学の財務諸表を集計・分析します。今回は、運営費交付金収入の推移と、1人あた

りの賃金支給額です。

このうち、運営費交付金

に削減されるものの、昨年

その部分は、2013年から2014年にかけて、大きく減っている部分であり、視覚的にも明らかです。

このグラフからは、運営

費交付金の削減と賃金削減

が、必ずしも連動せず、むしろ三重大学側は、経営難

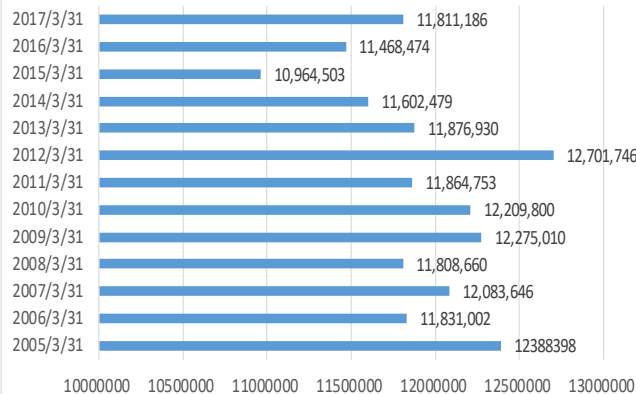
とは別の要因で賃下げを実施しているのではないかと、

という疑いが浮かびます。

今後、随時本紙で三重大学の財務分析を実施します。専門の方あるいは専門

が近い方は、ぜひその知見をお寄せください。

運営費交付金収入の経年推移



わがかりです。これに対し、給与支給額は、2009年度をピークに、その後の震災臨時減額、退職手当削減と着々と削減されている様子がわかります。

定額働かされ放題法案 参議院で廃案に追い込もう

安倍内閣は先週1日、衆

議院本会議で「働き方改革

一括法案」を強行採決しま

した。人文学部は、満身の

怒りを込めて抗議します。

なかでも「高度プロフェッ

ショナル制度」は、政府の

いう「健康確保措置」をどう

たうえでも、休憩なしの24

時間労働を48日間連続で行

うよう命ずる就業規則をつ

くることが合法となる過

労死促進制度です。今後参

議院で、廃案に追い込むと

りくみが求められます。



三重大学教職組人文学部支部執行委員会

2018年 6月 5日 (火) 第223号

津市栗真町屋町1577 三重大学人文学部内

編集・発行人 前田定孝

E-mail:kff02520@nifty.com